

平成 28 年度事業 近畿ブロック賀詞交換会

日時：平成 29 年 1 月 24 日(火)

場所：ホテルグランヴィア和歌山（和歌山県和歌山市）



全国産業廃棄物連合会青年部協議会
平成 28 年度近畿ブロック新春講演会

講演
「時代の波に乗ろう！」
講師
プロサーファー 堀口 真平氏

参加者数：46 名

平成 29 年 1 月 24 日(火)に和歌山県和歌山市にあるホテルグランヴィア和歌山にて近畿ブロック賀詞交換会を開催しました。新春講演会の講師にはプロサーファーの堀口真平氏をお招きし、「時代の波に乗ろう！」をテーマに講演頂きました。34 歳と若くプロサーファー活動意外にも、海の学校校長、前パプアニューギニアサーフィン親善大使などの経歴も持っておられます。プロサーファーの実績としても Red Bull 日本代表選手として活躍するなど、現在はハワイを拠点に活動されております。そんな和歌山県串本町出身の堀口氏のサーフィンと共に歩んできた人生のお話をして頂きました。



サーフィンを通じて自然、人付き合いなどを学び、「人は自然が無ければ生きていけない、それを感じさせてもらえるのがサーフィン。良いサーフィンをする事は、生きるリズムを自然（波）のリズムに合わせる事。理にかなうこと。そして良い波に乗れたことに自然（波）に感謝をします。」自然環境を最大限利用したスポーツ、サーフィンをする事によって体験できる事を興味深く語って頂きました。

冒頭でもお伝えした、海の学校校長としての活動は、救命救助講習、サーフィンやサーフボード実習体験、ダンス発表会、友達サークル活動、清掃活動などに取り組んでおられます。前パプアニューギニアサーフィン親善大使時代には「首都から 2 時間車で移動した場所には水道も電気も無く、お金を使う場所がない所です。しかし、その村社会は村長を中心に秩序が保たれ、村人皆が自分たちの持っている自然環境を大事にし、支え合って生きています。自然との距離が近く、自然の財産を守りつつ生きていく、そんな生活をしているパプアニューギニアの人達は進んだ生き方をしていると感じた。日本の技術の進歩は早く、そのスピードに人の心の進歩がついて行けていないと感じる。仮に大金を払っても自分の求める自然の波は発生しませんし、自然が汚れていても成り立たない、本当に必要な事は大金を稼ぐことでは無く気持ちの豊かさなど、別の所にあるのではないか。その為には生命活動維持の排泄物の出し方を考えた生産活動をするべき。そこには 1. 人の生活からのゴミの出し方、2. その処理の仕方、3. 全ての向上、が重要と考え、後はこれを実行



する人の気持ちが大事。日本人口減の中で人の生活の質の向上が求められていると思う。スマートフォンなどスマートなデバイスが発達してきて
いる中で次に人がスマートになる時代ではないか？心の持ち方、レベルを上げる。意識の波、意識の共有を感じ変わっていくべき、と講演の波
乗りを締めくくりました。

～新春講演会 Photo～



開会挨拶 梅崎ブロック長



真剣に聞いております



海の学校 救命救助講習



海の学校 集合写真



堀口氏のホワイトボードを使っての説明



閉会の挨拶 京都春山顧問

～賀詞交換会 Photo～



仲田全国青年部会長



瀧本統括幹事



奈良県三井幹事



～おまけ Photo～

